



新潟教区報 第121号
2018(平成30)年7月31日発行

「部落差別解消推進法」に関する研修会

日時 平成三十年三月十四日(水) 十三時三十分～十六時四十分
会場 本願寺新潟別院 和室(参加者二十五名)
講師 小川 真理子さん(一般財団法人同和教育振興会評議員)

「部落差別解消推進法」に関する研修会で学ばせていただいたこと

同朋部会委員 三条組専正寺衆徒 廣橋 卓也

さる三月十四日、新潟別院を会場に、「部落差別解消推進法」に関する研修会が開かれました。岐阜の小川真理子先生がご出向くださり、ご講義を頂戴いたしました。

まず、この法律の制定に関する歴史的経過と成立の背景、そして、その目的と意義をお話いただき、さらに、今後の課題等についても述べられました。すべての差別に関して、私自身を抜きにして考えてはならないことを、改めて知らされたことです。関係ない、無関心であるということは、差別の助長を招く行為です。一人一人のそのような現状に、ネットでの差別扇動等が絡み、ここに至り、部落差別解消を求める市民運動が高まりを見せたことが、この法律成立の背景にありました。

私たちの教団でも、「御同朋の社会をめざす運動」が推進されていますが、その目標は何かといえば、誰もが差別されない社会の実現に他なりません。「部落差別解消推進法」が施行された今だからこそ、凡夫だから、煩惱があるから仕方ないということを隠れ蓑にせず、私自身が一歩踏み出す努力を重ねる必要があると感じました。

真宗教団連合公開講演会

仏教婦人会連盟若い女性聞法の集い

やしゅうはなみがおかだいじやのきようろうこ

人形説き『野洲花見ヶ岡大蛇経 鱗』

若い女性聞法の集いを終えて

仏教婦人会連盟会長 安藤 房子

今年度の若い女性聞法の集いは、真宗教団連合で人形説きをするというお話を聞いて、若い方々が気軽に参加できると思います。共催をさせていただきました。

この人形説きは創作や昔話にあるような不思議な力で大蛇を退治するのではなく、大蛇と生贄いけにえの姫が親鸞聖人と出会い、ともに自身の愚かさに気付き、お念仏を申し救われていくという、浄土真宗のみ教えに則したお話でありました。

ご参加の仏教婦人会会員からは人形説きの迫力や、飽きずに聞き続けられた。もしも次回の研修会等にてまた人形説きを行うのであれば是非参加したいなどの非常に嬉しい感想をいただきました。若い女性の参加が少数であったことが少し心残りではありますが、今回の若い女性聞法の集いは例年に比べ非常に沢山の会員の皆様から参加をいただくことができました。

さて、平成三十年五月の総会を除けば私の仏教婦人会会長としての務めは今回で終わりとなります。役員・会員の皆様から多くのご支援・ご協力をいただき、無事に任期を終える事ができました。この場をお借りして御礼申し上げます。本当にありがとうございます。

日時
会場
講師

平成三十年三月七日（水）十四時～十六時三十分
本願寺新潟別院（参加者八十五名）
安藤 けい一 さん（人形遣い・三条組福勝寺衆徒）



講演会の様子

参加者の声

人形説きを見るのは初めてでした。講師の安藤けい一さんは、お一人で親鸞様・大蛇・生贄いけにえとされた姫などを演じ分けられておられました。また声の大きさ・抑揚もあって、すごい迫力でした。長時間ではありましたが、最後まで飽きずに見る事が出来ました。

お話も難しい内容ではなく、親鸞聖人のみ教えがわかりやすく伝わる人形説きでした。

新潟組林徳寺衆徒 眞谷 友希さん



人形説き



安藤けい一さんのお話

法話 「呼ぶこと」

巻組真浄寺衆徒 赤沼 誠善

私の家族は三世代同居で、私ども夫婦と子ども、両親と共に生活しております。毎日月参りをさせて頂いている中で、ご門徒の方々からは「一緒に暮らす事は大変でしょう?」とか「今どき珍しいですね!」とおっしゃる方もおり、私の周りでも核家族化は進んでいるようです。

私の末っ子は四歳、ようやく言葉を聞き分けられる様になり良く喋ります。私の顔を見ては「お父さん!」と呼びかけます。「なあに。」と返すとただニヤニヤとするだけです。先日、祖父にも「おじいちゃん!」と呼びかけ、「なんだい。」と返すと、ただニヤニヤ。「何だ、呼ぶだけか」と、私と同じようなやりとりをしています。その様子を隣でしばらく見ていますと、何やら互いにニコニコしているではありませんか。あ、そうか!そこには何の駆け引きもない「安心」がありました。改めて気づかされたことでありました。

阿弥陀さまは、常に「南無阿弥陀仏」と私ひとりに呼びつづけていて下さっています。それも私をお浄土に救うというはたらきとして、呼び続けてくださっているのです。

阿弥陀さまはいつでもどこでもあなたのそばに寄り添っていて下さっています。

「南無阿弥陀仏」「安心」してねと。



「本願寺新潟別院どんとこいフェスタ」報告

巻組西念寺住職 鈴木 一生

日 平成三十年三月二十五日(日)十五時十五分〜十八時三十分
会 場 本願寺新潟別院(参加者七十四名)
内 容 おつとめ・法話・八幡太鼓の演奏・LIVE、夕食交流会等

どんどん来いっ!今回も無事に終えることができた「どんとこいフェスタ」!!! 昨年よりも食べ物のメニューが増え、去年と同じく出演した西念寺ALLSTARSと、長岡市飯塚の皆さんによる八幡太鼓の演奏もあり、パワーアップした開催でした!

参加者が少なかったことは残念でしたが、新しい出会いやおなじみの顔ぶれに、ワクワクできる日でした。堅苦しい会議で机にじっと座るのではなく、「来てくれる子どもやみんなのために」とスタッフも含めたみんなが、その活動を楽しんでいたのです。

その場に行ってみないと分からない雰囲気。重くなる足取り…。誰か知っている人いるのかなあと不安になる気持ち。:「そんなことは気にせず、老若男女みんなどんとこいっ!」というのがこの企画です。

ご縁は知らないうちに繋がっていることもありすが、自ら繋ぎとめていくこともできます。新しい出会いで仲間が増える。あなたとのご縁が深められる。そんなよろこびが待ち構えています。



飯塚八幡太鼓



西念寺 ALLSTARS LIVE

寺院巡り

巻組 徳應寺

住所 新潟市西区新通三三九三
電話 〇二五―二六九―二七七二

徳應寺の初代は釋円正という人で、能登に住んでおられたようです。何らかの事情がありお仲間の四カ寺で越後に移ってこられました。

本堂

本山第十三代良如上人より下附された木佛本尊（阿弥陀様）と巻物仕立てのお手紙が残っています。古くてボロボロになった巻物ですが、明歴二年九月十六日と書かれていますので、今から約三百七十年前にこの新通の地に小さな寺を建立されたようです。

納骨堂

江戸時代に一度火災に遇い本堂、庫裏が消失しましたが、佛像が本堂裏の高い木の枝にぶら下がって無事であったという言い伝えがあります。現在の本堂は平成元年に竣工されましたが、近年傷みが出てきました。
平成二十五年、住職継職奉告法要をお勤めでき、有難い事でした。現在は二十二代住職です。



〇今後の予定

ご関係の皆様、多くのご参拝、ご参加をお待ちしております

・仙台別院納涼夏まつりボランティア
日時 八月五日(日)〜六日(月)

・仏教青年連盟教区の集い「新潟別院を知ろう」
日時 九月二日(日) 十六時〜

・新潟教区門徒総代研修会(新巻組主管)
日時 九月四日(火)〜五日(水)
会場 月岡温泉ホテル泉慶

・第三回新潟別院公開講座「みんなて学ぶ歎異抄」
日時 九月七日(金) 十四時〜十六時
講師 清水 正朋さん(本願寺派輔教)

・新巻教区公聴会
日時 九月十八日(火) 十二時四十五分〜十四時十五分
会場 国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑(東京都千代田区三番町二)

・新巻教区公聴会
日時 九月二十八日(金) 十三時三十分〜

編集後記(広報部会の任期を終えて)

平成二十八年より二年間に渡り、広報部会長として当教区報の編集に携わらせていただきました。編集に当たっては、視覚的に楽しめるものであること、レイアウトを工夫し風通しの良い読みやすい紙面とすること等を心がけてまいりました。また、少しでも多くの方に新潟教区の活動をご報告できたら、との思いから、各寺院への配布数の希望を募らせていただきました。至らない点は多々あったかと思えます。後任の部会員の皆様には、少しずつでも改善の歩みを進めていただきたいと思います。

前広報部会会長 専徳寺住職 佐々木崇史



ラジオ法話 新潟教区布教団による ラジオ法話

F Mながおか 八〇・七 毎週月曜〜金曜 十六時十五分よりの放送中です。

(放送地域は長岡市全域、小千谷市、小国、川口、山古志、出雲崎、見附)

編集/浄土真宗本願寺派 「御同朋の社会をめざす運動」新潟教区委員会 広報部会
〒九四〇―二四〇二 新潟県長岡市与板町与板乙四三五六 本願寺新潟別院内
TEL: 〇二五八七二二二二〇 FAX: 〇二五八七二二二五三六